P R E S S　R E L E A S E

KOGAKUIN UNIVERSITY | KUTE-TOKYO Kogakuin University of Technology & Engineering

学校法人 工学院大学 広報課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
03-3340-1498 | gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp

報道関係各位

2026 年 11 月 5 日

先端デジタル技術を実務に活かす建築人材を育成

工学院大学「BIM×AI 建築人材養成プログラム」受講申込開始

工学院大学(学長:今村 保忠、所在地:東京都新宿区／八王子市)は、BIM や AI をはじめとした先端デジタル技術を建築実務に活かし、建築 DX を推進する人材の育成を目指す「BIM×AI 建築人材養成プログラム」を 2026 年 11 月 30 日(月)より開講します。このたび、申込受付を開始しました。

本プログラムでは、BIM(Building Information Modeling=建物情報を一元管理する 3D デジタル設計手法)と AI の基礎知識から、設計・施工、法規対応、組織・経営への活用までを全 14 回のオンデマンド講義で体系的に学びます。建築学部と情報学部による分野横断の教育体制のもと、大学教員と第一線で活躍する実務家教員が連携し、建築 DX を実務や組織で推進するための知識と考え方を提供します。



図 1:工学院大学内に設置されているデジタルツインラボ(上) 図 2:BIM で制作した競技場の3D モデル(下)

■ 建築業界の DX 推進に向けた人材育成

現在、建築業界では、BIM や AI などのデジタル技術の導入が進み、設計・施工に関する情報の高度化が進んでいます。設計図面や施工条件、法規・規格などのデータは膨大に蓄積されている一方で、情報を俯瞰した横断的な利活用の機会や適応人材は限られています。蓄積された情報やノウハウが個人のスキルに依存し、組織全体の活用につながりにくいことが課題となっています。

こうした背景を踏まえ、本学では建築学部と情報学部が共創する「デジタル構築環境研究センター」(DigiBE センター:Digital Built Environment)を新設しました。建築学部が有する実務データ(設計図面、施工条件、法規・規格など)と、情報学部によるデータ分析手法を横断的に用いて、高度な実務家スキル養成の教育をおこない建築業界における課題解決へむけた支援を目指します。

■ BIM・AI の基礎から実務、組織・経営への展開まで学ぶ全 14 回

本プログラムは、全 14 回のオンデマンド形式で実施します。各回は講義動画と、内容を振り返るパネルディスカッションで構成され、建築 DX に必要な知識や考え方を段階的に学びます。

講義は、建築学部と情報学部の教員に加え、建築設計の第一線で活躍する実務家教員や各分野の専門家が担当します。建築と情報の双方の専門性に実務経験に基づく知見を組み合わせ、建築 DX を多角的に学ぶ機会を提供します。

【カリキュラム】

授業回	分類 A:建築 I:情報	主なテーマ	主な内容
第 1 回	A	BIM 事始め	BIM とは何か、BIM の基本的な考え方
第 2 回	I	AI を業務で使うためのリスクと考え方	AI の限界、業務利用上のリスク、法律・倫理・著作権、安全な利用
第 3 回	A	BIM の背景と歴史・現状	日本の BIM の歴史・特徴、建築 BIM 推進会議、確認申請の BIM 化
第 4 回	I	AI はどのように考えているのか	人工知能、機械学習、モデリング、深層学習
第 5 回	A	設計報酬と BIM	設計報酬、EIR、BIM マネジメント、スタッフィング、データマネジメント
第 6 回	I	AI はデータで決まる	データの重要性、データ中心設計、非構造化データ、AI 時代のデータ基盤
第 7 回	A	BIM のスタンダードと ISO	海外の BIM 動向・事例、ISO 19650、国際規格の活用
第 8 回	I	生成 AI の仕組み	Transformer、BERT と GPT、LLM とその限界
第 9 回	A	法規の DX	法適合確認の DX、仕様書等における AI 活用
第 10 回	I	AI エージェント	AI エージェント、RAG、MCP、マルチエージェント
第 11 回	A	設計デザインの AI＋BIM 最新動向	生成 AI とモデリング、レンダリングと生成 AI
第 12 回	I	業務活用事例	文書作成、設計分析、システム開発支援、AI 導入の進め方
第 13 回	A	BIM と経営	デジタル経営、経営における BIM の位置付け、投資効果、DX ツールとしての活用
第 14 回		講座振り返り	成果発表、全体振り返り、今後取り組む課題の整理

【担当講師】 ＊印は外部講師

岩村 雅人 建築学部 建築学科教授
吉田 哲 特任教授／株式会社日建設計 設計技術部門 テックデザイングループ ダイレクター
尾門 智志 特任准教授／株式会社 日本設計 ライフサイエンス部主管
田中 久弥 情報学部 情報デザイン学科教授
三木 良雄 情報学部 情報科学科教授

岡本 尚俊 氏(株式会社日本設計 常任顧問)＊
高橋 りえん 氏(オートデスク株式会社／建築土木業界 戦略本部 シニアマネージャー)＊
髙橋 勝季 氏(前田建設工業株式会社)＊
渡辺 健児 氏(株式会社ヴィック 代表取締役社長/CEO／慶應義塾大学大学院 非常勤講師)＊
平山 秀樹 氏(平山建設株式会社 代表取締役社長)＊

※カリキュラムは変更となる場合があります。
※本講座は BIM ソフトや AI ツールの操作方法を習得する実習形式ではなく、建築 DX を推進するための知識や考え方を学ぶ講座です。

■「BIM×AI 建築人材養成プログラム」開催概要

主催	工学院大学 デジタル構築環境研究センター（DigiBE センター）
対象	建築・設計・施工・DX 分野の実務者
開講日	2026 年 11 月 30 日（月）
受講期間	2026 年 11 月 30 日（月）～2027 年 3 月 31 日（水）
受講形式	オンデマンド配信（段階的に公開） ※第 14 回（最終回）は対面・オンラインのハイブリッド形式の講義を予定しています。
講義時間	1 回約 60 分×全 14 回
受講料	132,000 円（税込）
詳細・申込	特設サイト（https://www.kogakuin.ac.jp/digibe/ai-bim-course.html）よりお申込みください。

■講義イメージ



講義イメージ1



講義イメージ2

＜取材に関するお問い合わせ＞
学校法人 工学院大学 経営企画部 広報課／担当：森川・廣田
TEL: 03-3340-1498／問い合わせフォーム